

編集後記

ここに、『人間学研究 第13号』をお届けいたします。ご一読いただければ幸いです。

人間学研究所は、今年度、依田博所長を迎え新たな体制でスタートしました。その中で、変化がありました。これは、就任当初に依田新所長がいくつかの刺激的なイベントやプログラムの実施計画を提示されたことを受けてのことです。一つは、学生の歩き方矯正をテーマにしたワークショップの計画です。それは、4年後に学生が巣立つためのサポートの意味合いがあります。もう一つは、「きく」「はなす」「うたう」をキーワードにした、12月に臨床心理学部との共催で実施したクリスマスコンサート（RelaX'masをあなたに）です。そしてもう一つ、同じく12月に実施された日本の性文化としての春画をめぐるシンポジウム（浮世絵春画はおもしろい）です。こちらは、海外で実施予定のプロジェクトの一端をそれに先駆けて日本で公開するという興味深いものです。

このように多様で刺激的な研究所運営に促されるようにして、次年度の新規共同研究プロジェクトに4つの新規プロジェクトの応募がありました。新年度からは通常の倍の6つのプロジェクトが動き始めます。

さて、今回の『人間学研究 第13号』には、上述しましたイベントの実施報告に加えて、論文が3篇と研究ノートが1篇、エッセー風のものを含む研究会報告、資料、そして各プロジェクトからの年次報告が掲載されています。特に、論文、研究ノートそしてエッセー風の報告は、共同研究プロジェクトの中から生まれたものです。すでに述べたように、次年度は共同プロジェクトが新たに4つ加わります。さらに、『人間学研究』の内容も充実することが期待されます。

最後に、いつものことながら、編集に多大な尽力をいただいた研究支援課、特にその中心で奔走していただいた立石尚史氏に感謝したい。また同時に、多忙な中、査読の労をお取りいただいた方々にも御礼を申し上げます。

中窪 靖

編集委員

委員長：中窪 靖

編集委員：黒宮 一太、高石 浩一、長崎 励朗、
橋本 和也、森 正美、依田 博

編集事務：立石 尚史

京都文教大学人間学研究所紀要 第十三号

2013年3月28日 印刷

2013年3月31日 発行

編集・発行 京都文教大学人間学研究所
〒611-0041 宇治市檜島町千足80
☎0774-25-2891

印刷 (株) 栄文堂